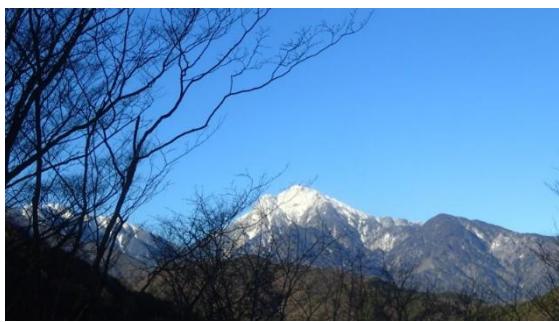


2026/1/12(月) 荒倉山(韋崎の里山)

メンバー:L辻、福田(記録)、有賀、会員外 1

駐車場のお寺がみつからず、登山口がみつからずーと、出発前にいろいろあったが、歩き出すと乾いた落ち葉がいっぱいの歩きやすい道だった。同じ山梨県で山火事がおさまっていないが、乾燥しすぎている。
平川峠に出ると林道が横切っている。白い甲斐駒が朝日にせまって、美しい。



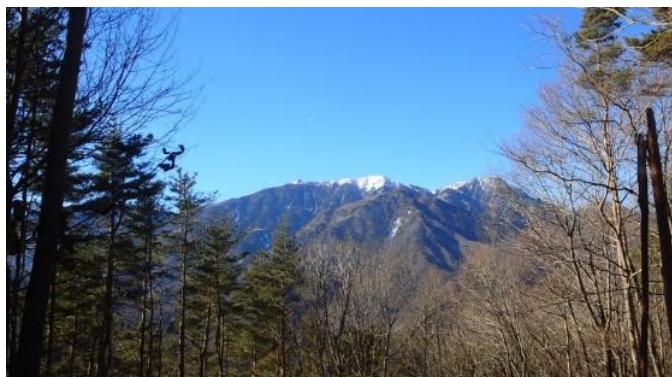
▲甲斐駒ヶ岳



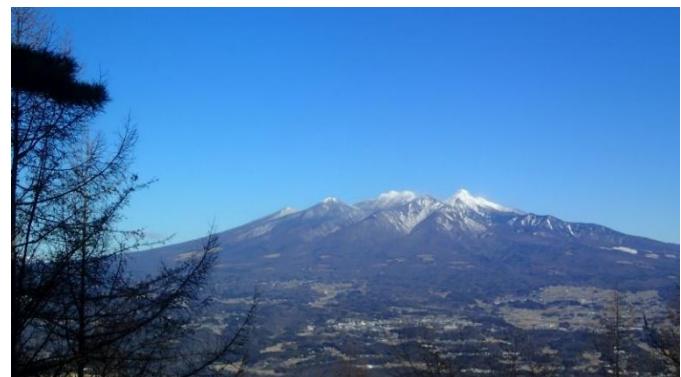
天気：快晴

07 : 25 荒倉山登山口駐車場
07 : 35 龍珠院
08 : 25 平川峠
09 : 00 荒倉山林道終点
09 : 50 つぶらの松
09 : 55 荒倉山 大休憩 10 : 35
11 : 00 荒倉山林道終点
11 : 35 平川峠
12 : 15 荒倉山登山口駐車場

かかしの案内で山道へ。途中「へのへのもへじ」を書いた石や、ケルンもどきがいくつもあったが、地元で愛されている里山らしい。
シモバシラを探しながら頂上をめざすが会えず。後から来たメンバーは、みつけたーと。



▲鳳凰三山
オベリスクもくっきり！



▲八ヶ岳
茅野から見るよりこじんまりだよね！
主峰赤岳目立ってるね！



◀山頂のかかし



八ヶ岳を見るためのベンチあり。三ツ頭、編笠、西岳を従え、権現、赤岳がきわだつ、マチャブチャレに似た赤岳発見。
頂上は、鳳凰三山の前衛の山、さすがに迫ってくる。富士山もスッキリ正面に。
四方、山に囲まれ、いい位置に座す山だった。

帰りに見逃したシモバシラの結晶を探しながら下る。みつけたものは、しょぼかった。
昔立派なのを見ていて想像していたから、ちょっとがっかり。見ごろは12月の半ばとか。
来年ではなく、今年はぜひ、会いに来たいと、穏やかな日に感謝しつつ、下山。

(記録 福田)



◀ 角があって龍に見えるね！



氷華（霜華）▶
なかなか美しい！



【編集後記】

鳳凰三山の前衛峰で韋崎の里山（かかしの里）である荒倉山、目的は氷華を見る事。中腹を過ぎたあたりから氷華を探しながらゆっくり登る。

ストロー状のイネ科植物の根元にできるとの情報で、それらしい所が無いかと目を凝らすも目立つのは落ち葉の斜面ばかり。標高 600mまでもう少しのあたりに、何やら小さな氷の塊が。

「あった！これだ！」最初は霜柱かと思ったが、落ち葉の間に点々と氷の塊が。よくよく見ると氷華だった。想像していたものよりかなり小さく、うっかりすると見逃してしまうほど。良く見ると皆形が異なっていてなかなか美しい。まさに自然の造形美。

後から登ってきた地元のグループと思しき人たちからの情報だと、12月半ばあたりにりっぱな氷華が見られるとの事。ある程度の湿気と冷え込みが条件なので、カラカラ状態の今の山では大きな氷華は期待できないってことらしい。

それでも何とかミッション達成！一日中真っ青な青空と甲斐駒、鳳凰三山、八ヶ岳、富士山と素晴らしい展望のもと、のんびり山行を楽しんだ。

それにしても山梨側から見る八ヶ岳はなんてこじんまりとしているのだろう。

辻 記